

看護学科専門基礎科目・専門科目のコース構成

【H25カリキュラム(R3入学生用)】

コースの名称 及びコースの説明	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
(1)看護学の基盤コース 看護学の学問的基盤となる幅広い知識・技術・態度を習得する。	人体の構造と機能Ⅰ 人体の構造と機能Ⅱ セクシャリティと健康 看護学概論	人体の構造と機能実習 生涯人間発達Ⅰ 生涯人間発達Ⅱ	臨床心理	環境と放射線 看護情報学				
(2)看護実践の基盤コース 看護実践の基盤となる知識・技術・態度を習得する。		生活援助論 ヘルスアセスメント	看護過程論 診療過程援助論 衛生・公衆衛生学 看護学基礎実習	疫学・保健統計				
(3)健康障害と看護コース 健康障害をもつ対象の特性に応じた看護実践を展開する基盤となる知識を学習する。		健康障害の成り立ちⅠ 健康障害の成り立ちⅡ 代謝生化学 薬理学 病原微生物と免疫	健康障害と治療Ⅰ 医科学総合科目Ⅰ	健康障害と治療Ⅱ 臨床栄養学	医科学総合科目Ⅱ			言語病理
(4)ライフサイクルに共通する看護コース ライフサイクルを通じた対象の特性に応じた看護援助に必要な知識・技術・態度を習得する。	リハビリテーション概論 精神看護学概論	地域リハビリテーション	障害者スポーツ がん看護	精神看護学援助論 ウィメンズヘルス看護学概論 家族看護学	精神看護学演習 ウィメンズヘルス看護学援助論 ウィメンズヘルス看護学実習	精神看護学実習 ウィメンズヘルス看護学実習	リハビリテーション看護論 がん看護アドバンス	
(5)ライフステージの看護コース 各ライフステージにある対象の特性に応じた看護援助に必要な知識・技術・態度を習得する。			成人看護学概論	小児看護学概論 慢性期看護論 老年看護学概論 誕生の自分史	小児看護学演習 急性期看護論 老年看護学援助論	小児看護学実習 慢性期看護実習 急性期看護実習 老年看護学実習		
(6)多様な場における看護実践コースⅠ (医療機関、在宅、保健機関、福祉施設、産業・職域、学校等の)多様な場における対象者の特性や場の複雑性を認識し、対象者のニーズに応えるための看護実践を理解する。		地域の健康と看護 国際保健医療活動	地域の健康と看護実習	在宅看護学概論 災害看護学	在宅看護学援助論		在宅看護学実習 国際看護学演習 地域精神看護学	災害看護学演習
(7)公衆衛生における看護実践コースⅡ ライフサイクルを通して、様々な健康状態にある集団を対象に、予防の視点から個人、集団、社会システムに働きかける看護の能力を習得する。				公衆衛生看護学概論 社会サポートシステム論	対象別保健活動論 公衆衛生看護活動論 地区活動論 地区組織活動論 産業保健・学校保健 健康危機管理論	地域診断演習	保健指導演習 地域ケアシステム演習 公衆衛生看護学実習	公衆衛生看護管理論 ケースマネジメント演習 健康リスクマネジメント演習
(8)総合応用看護コース これまでの学習を応用し発展的に看護をとらえ、さらにすべての知識や技術、態度を統合し、新たな課題や解決の方向性を見出せる能力を習得する。			医療とボランティア活動		看護管理学		看護学総合実習 看護学総括演習 看護研究	看護における意思決定 看護学総括演習
(9)IPEコース 多職種連携の意義、理念を理解し、保健・医療・福祉の場において、多職種との連携や相互補完、協働する態度及び能力を習得する。	チームワーク入門実習 ※1			保健医療とチームワーク演習 ※1				チーム医療演習
								国際多職種協働実習(1~4年)
	※1基礎科目							